



S-mile 通信

令和6年5月15日発行 第75号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1

毎日毎日の足跡が
おのずから
人生の答えを出す
きれいな足跡には
きれいな水がたまる
相田みつを

慶成会の記事が掲載されました。 「全国社会福祉法人経営者協議会」

慶成会は長年にわたり、全国社会福祉法人経営者協議会の会員に加盟しています。この度2024年4月号に、慶成会の取り組みが6ページの特集記事として取り上げられました。

法人の沿革や理念、地域貢献を意識した子ども食堂や地域包括主催の体操教室・健康講座、また法人の中心的な取り組みである科学的自立支援介護やアメーバ経営の手法など、数多くの活動内容が写真と共に掲載されています。



慶成会の取り組みについては、今までパンフレットやホームページなどを通して外部へ広報してきました。今回、全国誌である経営協の会報誌で紹介いただいたことは、介護関係者へ慶成会を知っていただくと同時に、我々職員にとっても大きな自信と誇りに繋がります。

今後、具体的に進めた取り組みの結果について、皆様へお知らせできれば嬉しいです。

更にサービスを向上させながら、職員一同、地域一番の慶成会を目指して参りましょう！



フォローアップ研修

R5年新卒職員6名を対象としたフォローアップ研修を、3月15日(金)グリーンヒルズ東山会議室で開催しました。理事長のお話の中で「会社は人間修行の道場」とであるという言葉がとても印象に残りました。

仕事をすることは、人として常にどうあるかを問われています。人間には「心」があります。相手への思いやり、感謝の気持ち、利他の心・・・参加者の皆さんは、仕事において何が一番大切であるかを学び感じる事ができたと思います。我々が行う介護や保育の仕事は、常に相手が何を求めているのかを考えながら必要な支援、サービスを提供すると共に、喜びを与え感動させることが求められています。



午後は、木鶏会や社内報などの資料を用いながら人を「褒める」ことの大切さを実感しました。またドキュメンタリービデオを視聴し、「シゴトとは」という視点で感想を述べながら皆で働く意味を考えました。

最後に、各自が気づいたことを実行に移していくために、今後の目標を発表して研修が終了しました。参加者の皆さんにとっては、改めて自分自身を振り返り多くの学びを得ることができたかと思います。一日の研修お疲れ様でした。

こいのぼり

今年もこいのぼりの季節がやってきました。5月5日端午の節句である子供の日に向けて、3匹のこいのぼりが保育園敷地内の畑に飾られました。

大きなこいのぼりを背に、てんとうむし保育園の子供たちが大喜びです。

子供たちは、「すごいね」「お空で泳いでいるよ」「大きくてびっくり！」など、とても驚いた様子です。

風に靡く雄大なこいのぼりの姿が子供たちにとっては力強く見え、頼もしさを感じ元気を与えてくれます。

子供たちの今後の成長がとても楽しみです。



初任者研修がスタートしました。

4月12日（金）より、令和6年度の「介護職員初任者研修」がスタートしました。今回は慶成会の職員2名を含む合計4名の方が参加され、座学や実技といった全15回の様々な研修を進めていきます。

研修の講師については、介護の資格を有するリーダーの皆さんに応援協力をいただき、現場での体験や事例など理解しやすい話を中心に講義を進めています。

また会場については、今までのグリーンヒルズ東山1階会議室に加え、今回から新たな環境として在宅複合施設4階の研修センターを使用しています。

7月末の最終日に向け講義を進めながら、受講生全員が修了試験に合格できるよう応援して参ります。

長期間の研修ですが、体調に気を付けて頑張ってくださいと思います。皆様の応援をお願い致します。



慶成会の福利厚生

昨年度末、福利厚生アンケートについて集計結果をご紹介しましたが、現在取り組んでいる内容についてご案内致します。

	変更前		変更後
年間正職員の公休数	110日	⇒	111日
パート職員の祝日手当	無し	⇒	開始
一部手当（保育職員）	無し	⇒	開始
男性の育児休暇取得	無し	⇒	1名
NISA制度の説明会	1月に浜松信用金庫が来訪		

取り組みの数としてはまだまだですが、予算の確保や理事会の承認、また就業規則の変更など手続きを得て少しずつ可能な範囲で進めています。

職員の皆様より、様々なご意見やアイデアをいただきましたので、福利厚生の充実に向け少しでも多くの



内容を形にしていきたいと考えております。ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

能登半島地震の義援金のご報告

令和6年新年早々に起きた「能登半島地震」の被害は大きく、未だに避難生活を強いられている方が多いと聞きます。

慶成会では2月より、特養グリーンヒルズ東山職員通用口に募金箱を設置し、職員の皆様に義援金を募って参りました。

この度、年度切り替えに合わせ募金箱にある金額を集計させていただいた所、12,588円が集まりました。ご協力いただいた職員の皆様には大変感謝申し上げます。

この募金は静岡県ボランティア協会を通して全額寄付を致しました。

現在も引き続き募金は受け付けていますが、募金箱の案内場所を変更しグリーンヒルズ東山の正面玄関受付に設置しております。

引き続き皆様のご支援を宜しくお願い致します。



PET ボトルキャップ回収運動

日頃、PET ボトルキャップの回収に協力をいただきありがとうございます。この度、令和5年度分の集計を行い、品物をキャップ回収業者へ持ち込みました。今回、持ち込みしたPET ボトルキャップの総量は

昨年度の130kgを10kg上回り、合計140kgでした。これにより70人の子供たちがワクチンを接種することができます。

皆様の温かいお気持ちをPET ボトルキャップ通して子供たちに届けることができ、大変嬉しく思います。また日頃、回収運動について多くの職員の皆様に関心を寄せていただきとても感謝いたします。

皆様のほんの僅かなお気遣いがワクチンに形を変え、大勢の子供たちの命を救います。

今後も引き続き、ご協力をお願い致します。

